

目標達成計画

作成日：令和 2 年 4 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16 19	新型コロナウイルスの感染防止のため、家族との面会を禁止しているため、家族との交流ができず家族のことを忘れてたり、ボランティアの人たちとの交流もないため認知症の進行がみられる。	認知症の進行を少しでも食い止めるため、息子さん、娘さん、お孫さん等を忘れない様な工夫をするなど精神的安定を図るとともに、少しでも認知症の進行を食い止めていく。	日頃の会話の中で、息子さん、娘さん、お孫さんや、お友達の話題にふれ、思い出す機会を多くしていく。また、認知症進行の予防のためのレクリエーションを多く取り入れ認知症の進行を食い止める。他にも、スカイプ面会を行い家族にも認知症の進行予防のため利用回数を増やすよう働きかける。	12ヶ月
2	26 30	コロナ禍で、散歩や外食などの外出も控えているため体力や筋力の衰えがみられ、特に下肢筋力の低下がみられるため、転倒転落のリスクが増えている。	同一施設内にある病院の理学療法士とよく相談して、お年寄りでもできる筋力低下をふせぐレクリエーションを工夫しADLの維持向上に努め、穏やかなストレスのない生活が送れるよう支援する。	病院の理学療法士のアドバイスをいただき、体力、筋力に効果的な体操やゲームを取り入れADLの維持向上を図るとともに、スタッフが入居者に声掛けを多くして楽しくストレスがたまらないように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。